

4 レジ袋の削減について

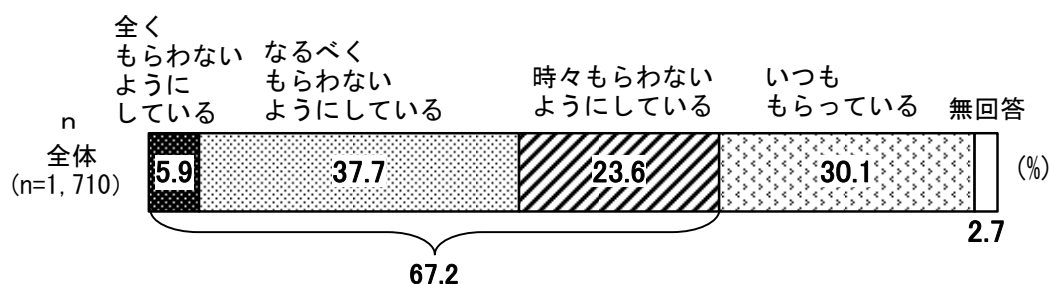
(1) 買い物をする時のレジ袋受け取り状況

◇『もらわないようにしている』は約7割

千葉県は、資源循環型社会づくりを目指し、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3R運動を推進しています。
特に、現在、「レジ袋の削減」について全県的に取り組んでいるところです。

問13 あなたは、買い物をする時にレジ袋をもらいますか。（○は1つ）

<図表4-1>買い物をする時のレジ袋受け取り状況



買い物をする時にレジ袋をもらうかどうかを聞いたところ、「全くもらわないようにしている」(5.9%)、「なるべくもらわないようにしている」(37.7%)、「時々もらわないようにしている」(23.6%)を合わせた『もらわないようにしている』(67.2%)は、約7割となっている。(図表4-1)

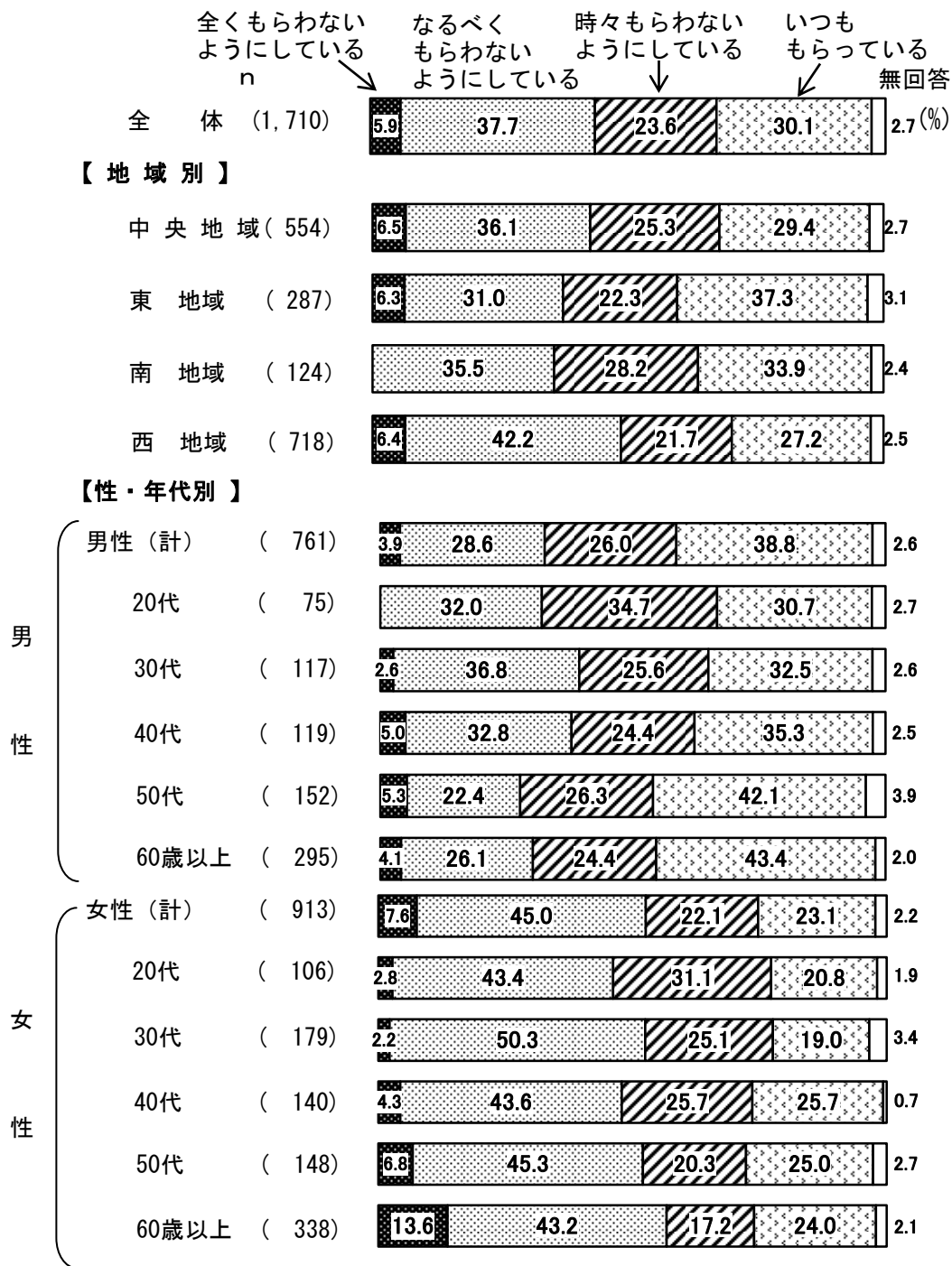
【地域別】

他の地域と比較して、『もらわないようにしている』が最も高いのは、“西地域”(70.3%)である。「いつももらっている」は、“東地域”(37.3%)で約4割と、他の地域に比べ高い。(図表4-2)

【性・年代別】

女性は各年代とも「全くもらわないよう」、「なるべくもらわないようにしている」の合計が5割前後なのに対し、男性は3割台にとどまっている。特に「全くもらわないようにしている」は、女性の60歳以上(13.6%)で1割台半ばとなっており、他の年代と比較して高くなっている。(図表4-2)

<図表4-2> 買い物をする時のレジ袋受け取り状況／地域別、性・年代別



(1-1) 買い物でもらったレジ袋の利用方法

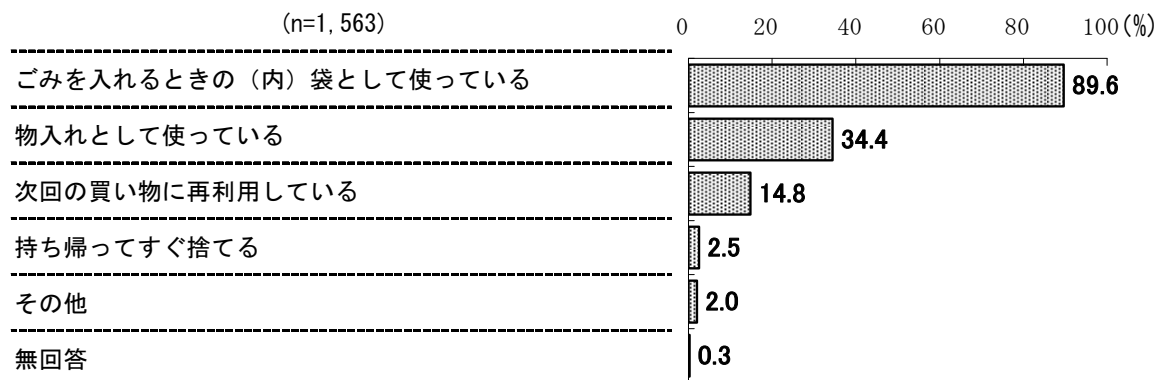
◇「ごみを入れるときの（内）袋として使っている」が最も高く、約9割。

(問13で「2」・「3」・「4」とお答えの方に)

問14 あなたは、買い物でもらったレジ袋を主にどのように扱っていますか。

(○は2つまで)

<図表4-3> 買い物でもらったレジ袋の利用方法



「なるべくもらわないようにしている」、「時々もらわないようにしている」、「いつももらっている」と回答した1,563人を対象に、買い物でもらったレジ袋の利用方法を聞いたところ、「ごみを入れるときの（内）袋として使っている」（89.6%）が最も高く約9割である。ついで、「物入れとして使っている」（34.4%）が3割台半ばで続く。（図表4-3）

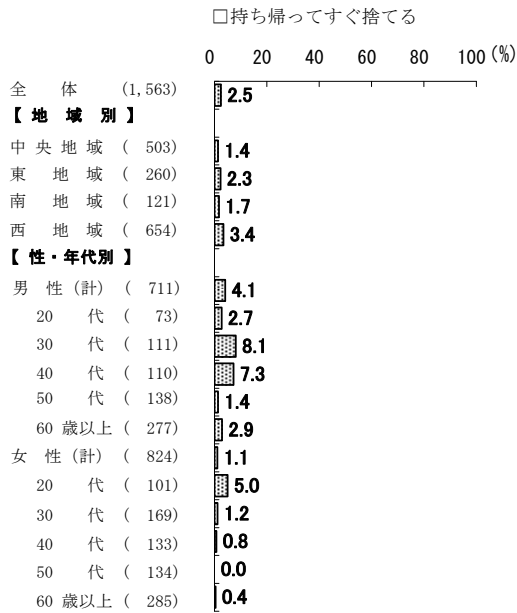
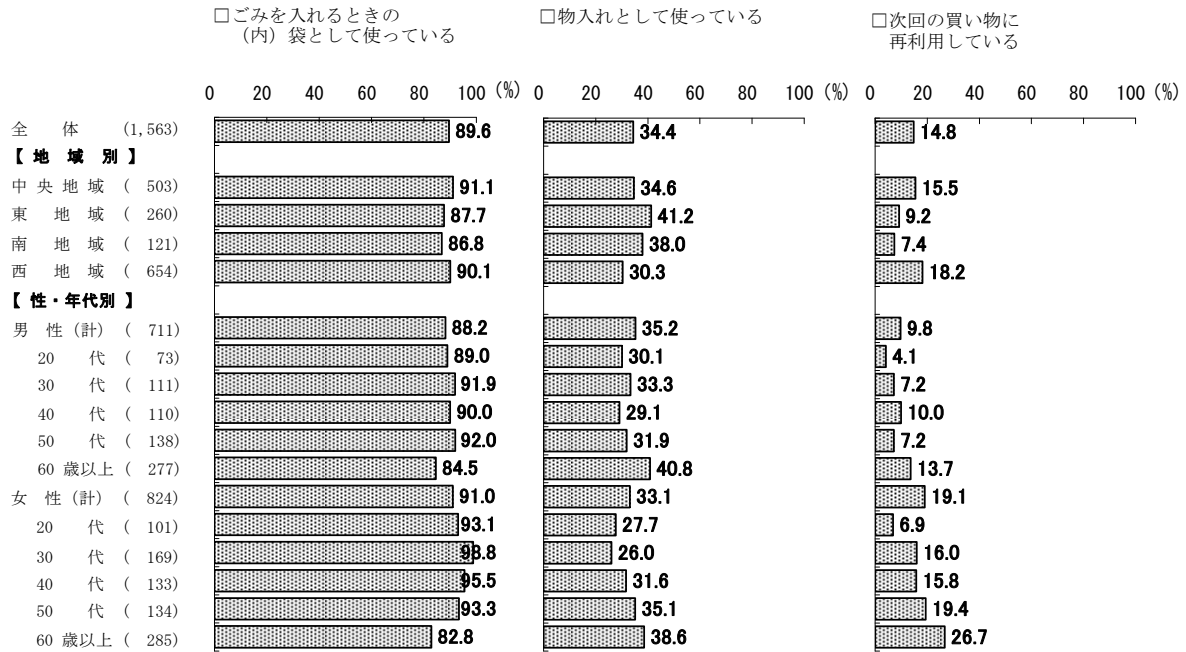
【地域別】

「ごみを入れるときの（内）袋として使っている」は、地域別に大きな差は見られない。「物入れとして使っている」は“東地域”（41.2%）が最も高い。「次回の買い物に再利用している」は、“西地域”（18.2%）が最も高く約2割。（図表4-4）

【性・年代別】

「ごみを入れるときの（内）袋として使っている」は、女性の30代（98.8%）はほぼ全員がそうしている。「物入れとして使っている」は、男性の60歳以上（40.8%）で他の年代と比較して高くなっている。「次回の買い物に再利用している」は、女性の60歳以上（26.7%）で2割台半ばとなっており、他の年代と比較して高くなっている。（図表4-4）

<図表4-4> 買い物でもらったレジ袋の利用方法／地域別、性・年代別

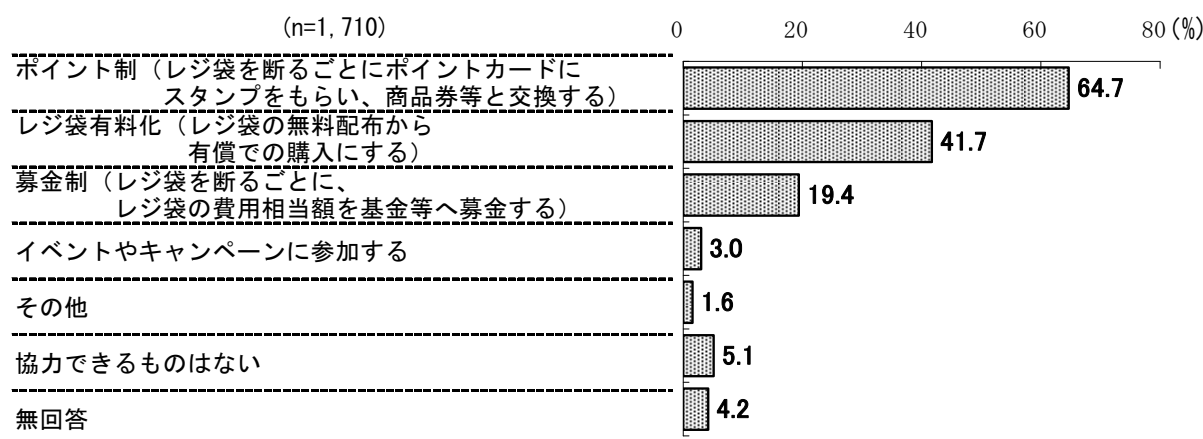


(2) レジ袋を減らすために小売店が行う活動に協力できること

◇「ポイント制」が最も高く6割台半ば。

問15 あなたは、レジ袋を減らすためにスーパーやコンビニエンスストアなどの小売店が行う活動に協力できるものは何ですか。(〇はいくつでも)

<図表4-5>レジ袋を減らすために小売店が行う活動に協力できること



レジ袋を減らすために小売店が行う活動に協力できることを聞いたところ、「ポイント制 (レジ袋を断るごとにポイントカードにスタンプをもらい、商品券等と交換する)」(64.7%)が最も高く6割台半ばである。ついで、「レジ袋有料化 (レジ袋の無料配布から有償での購入にする)」(41.7%)が続く。(図表4-5)

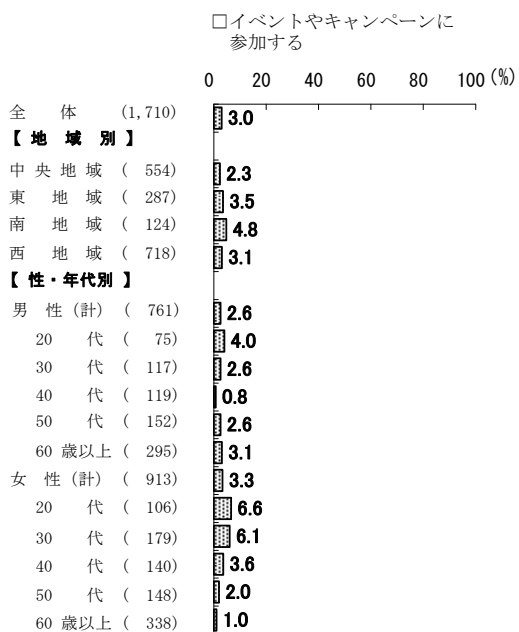
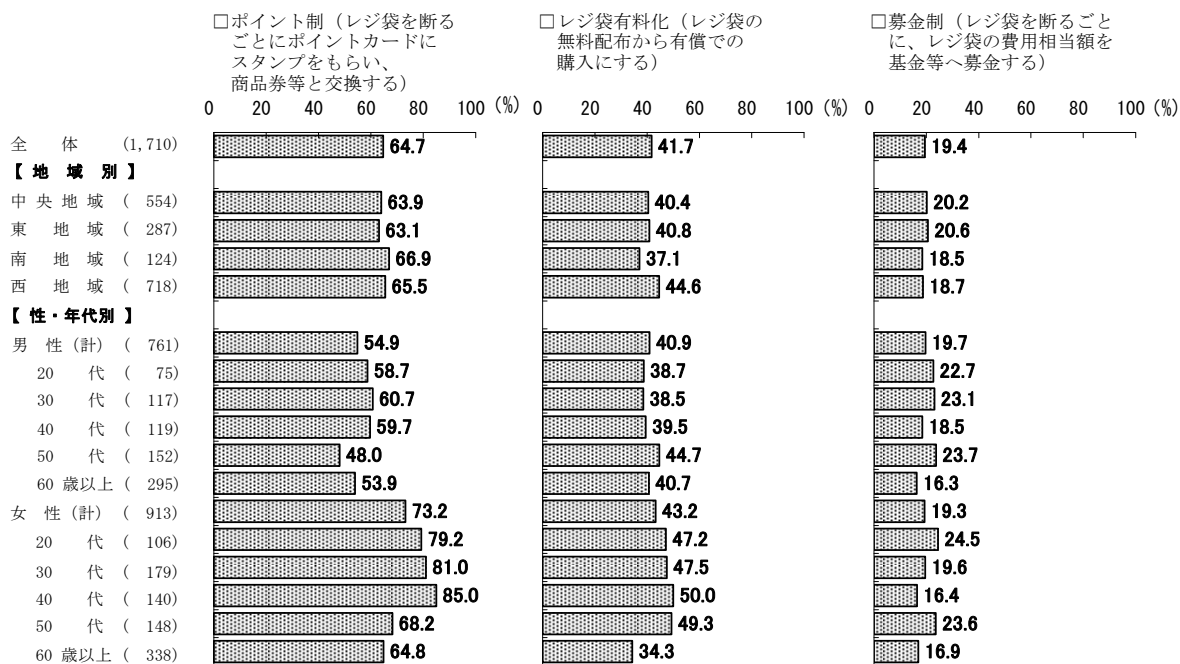
【地域別】

地域別に大きな差は見られない。(図表4-6)

【性・年代別】

「ポイント制 (レジ袋を断るごとにポイントカードにスタンプをもらい、商品券等と交換する)」は男性の30代(60.7%)が他の年代と比べ高くなっている。また、女性の30代(81.0%)、40代(85.0%)が他の年代と比べ高くなっている。「レジ袋有料化 (レジ袋の無料配布から有償での購入にする)」に関しては、男性の50代(44.7%)が他の年代と比べ、高くなっている。また、女性の40代(50.0%)が他の年代と比べ高くなっている。「募金制 (レジ袋を断るごとに、レジ袋の費用相当額を基金等へ募金する)」は男性の30代(23.1%)、50代(23.7%)で2割台半ばである。また、女性の20代(24.5%)、女性の50代(23.6%)で2割台半ばである。(図表4-6)

<図表4-6>レジ袋を減らすために小売店が行う活動に協力できること／地域別、性・年代別



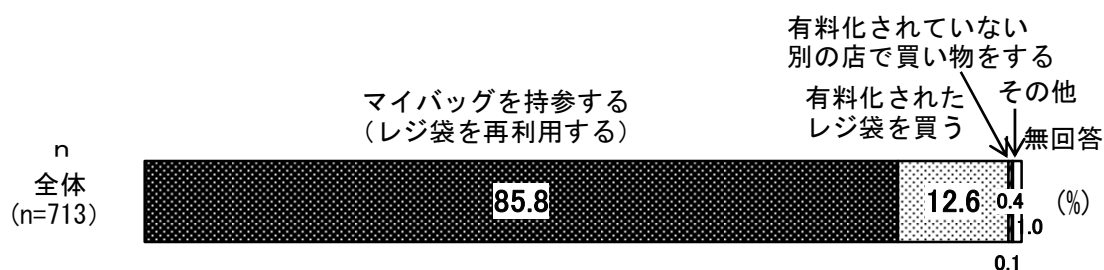
(3) レジ袋が有料化された場合についての対応策

◇「マイバックを持参する（レジ袋を再利用する）」が最も高く8割台半ば。

(問15で「1」と答えた方に)

問16 あなたは、買い物をする店でレジ袋が有料化された場合、主にどのようにしますか。
(○は1つ)

<図表4-7>レジ袋が有料化された場合についての対応策



「レジ袋有料化」と回答した713人に、レジ袋が有料化された場合についての対応策を聞いたところ、「マイバックを持参する（レジ袋を再利用する）」(85.8%)が最も高く、8割台半ばである。ついで、「有料化されたレジ袋を買う」(12.6%)が続く。(図表4-7)

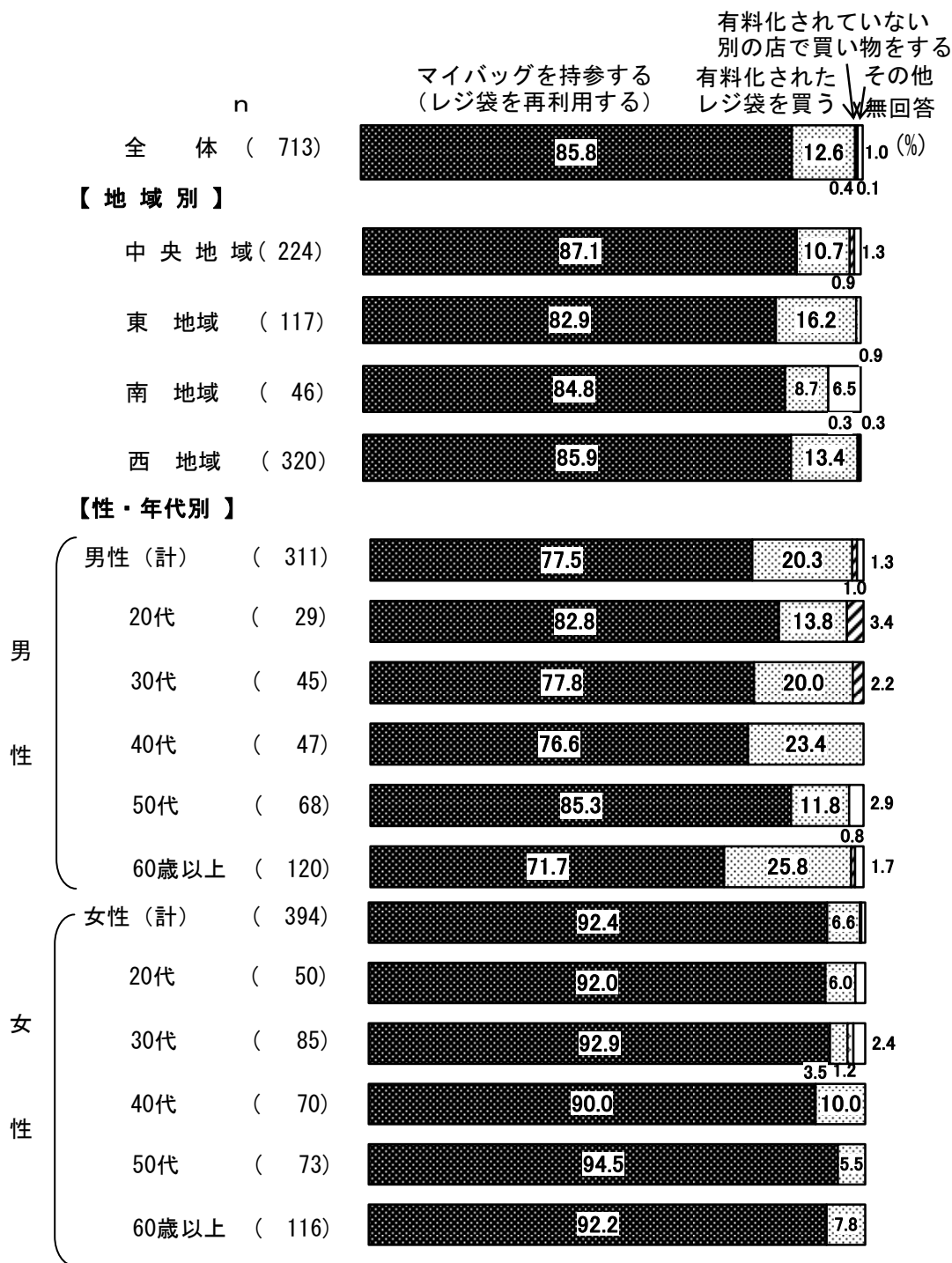
【地域別】

「マイバックを持参する（レジ袋を再利用する）」は、“中央地域” (87.1%)で他の地域に比べて高い。また、「有料化されたレジ袋を買う」は“東地域” (16.2%)で1割台半ばとなっている。(図表4-8)

【性・年代別】

「マイバックを持参する（レジ袋を再利用する）」は、男性では最も高い50代 (85.3%)が8割台半ばにあるのに対し、女性すべてでは9割以上となっている。(図表4-8)

<図表4-8>レジ袋が有料化された場合についての対応策/地域別、性・年代別

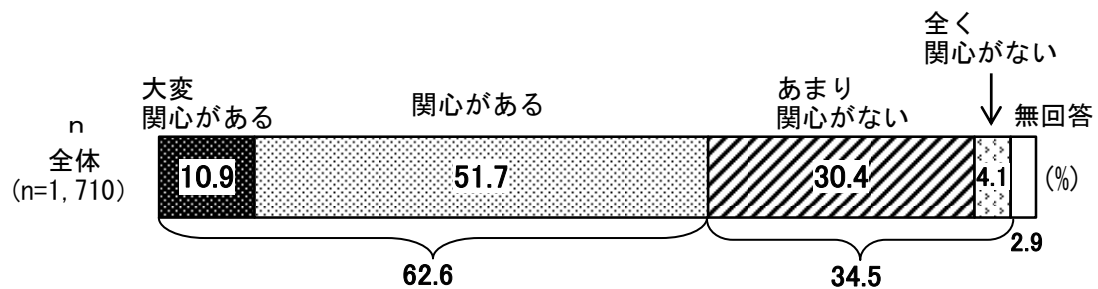


(4) 「ちばレジ袋削減エコスタイル」への関心度

◇『関心がある』が6割を超える。

問17 あなたは、県で実施している全県的なレジ袋削減の取り組み（ちばレジ袋削減エコスタイル）について関心がありますか。（○は1つ）

＜図表4-9＞「ちばレジ袋削減エコスタイル」への関心度



「ちばレジ袋削減エコスタイル」への関心度を聞いたところ、「大変関心がある」（10.9%）と「関心がある」（51.7%）を合わせた『関心がある』（62.6%）は6割を超える。一方、「あまり関心がない」（30.4%）と「全く関心がない」（4.1%）を合わせた『関心がない』（34.5%）は3割台半ばである。（図表4-9）

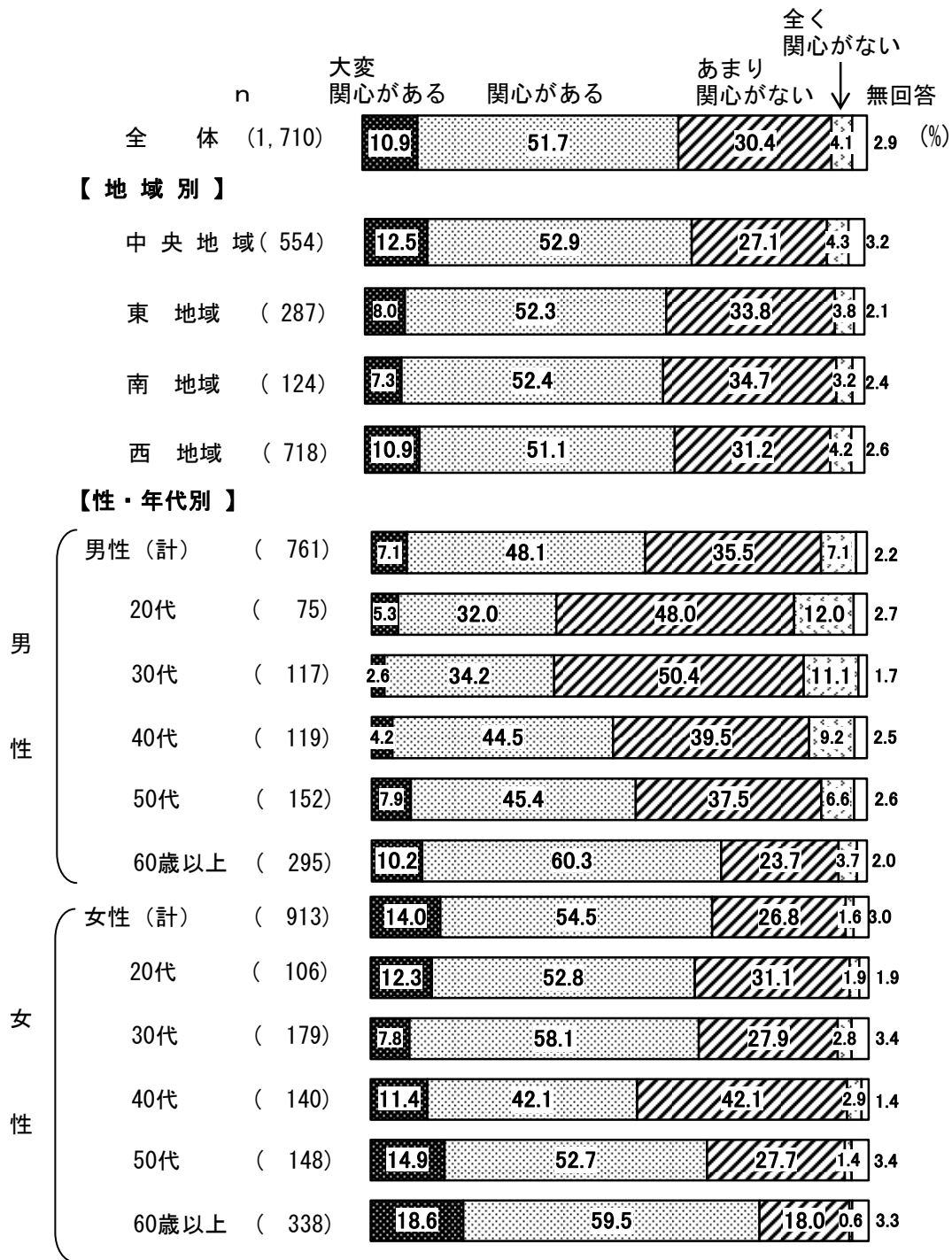
【地域別】

『関心がある』、『関心がない』ともに地域別に大きな差はみられない。（図表4-10）

【性・年代別】

『関心がある』は、女性の60歳以上（78.1%）では約8割となっており、男性60歳以上（70.5%）では7割となっており、他の年代に比べて高くなっている。（図表4-10）

<図表4-10> 「ちばレジ袋削減エコスタイル」への関心度／地域別、性・年代別



問 「レジ袋の削減について」やここまでの質問（問13～問17）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、265人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載した。

■「レジ袋の削減について」の自由回答（抜粋）

- 男性の協力が必要。若い人（女性含む）や男性は自分から「袋いりません」となかなか言い出せない。コンビニ等で店員さんが「袋入れますか？」の一声がけが効果があると思います。（女性・60歳以上・中央地域）
- 「ちばレジ削減エコスタイル」について関心があると答えたが、今回初めてこの取り組みを知った。県独自の取り組みがあることについて、もう少しアピールが必要なのもかもしれない。（女性・20代・東地域）
- 現在の生活に浸透してしまったレジ袋を削減（中止）する為には、根気強く、継続的に、地域社会や学校教育（幼稚園～中学校）の中で徹底して進めていくしかないと考える。（男性・50代・中央地域）
- 近くのスーパーはレジ袋を有料にする気がない。客の減少を心配している。地域の商工会や自治体が一体となって進めなければ無理である。（男性・60歳以上・中央地域）
- 有料化されたスーパーが近くにあるが、そうならしまえば意識する。1枚数円なら忘れても買うし、なるべく持参するようになる。全く不便さはない。（男性・30代・西地域）
- 県内一斉に実施していかないと先に進まないと思う。（男性・30代・南地域）
- 大変に良い事だと思いますが、再使用の場合は大変に便利が良く、全体になくすという事となると不便になると思います。ゴミをまとめて捨てる時などレジ袋に入れてゴミ袋に入れるという事ができます。子供にもその位の事はできるのでは？（女性・60歳以上・中央地域）
- レジ袋の必要性もあり、全てなくすというのは難しいと思う。（男性・50代・西地域）
- レジ袋持参に対し、ポイントで意欲をもたせるようなことをしているのは大型スーパーが主となっています。どの店舗も参加出来る体制となれば、削減率は高まると考えます。（女性・60歳以上・中央地域）
- お店で買い物等した時に店員の方がレジ袋が必要かどうかを、大変ですがそのたびごとに聞かれると段々意識も変わってくると思います。（女性・60歳以上・中央地域）